

麻生区区民会議 第1回 (仮称) 市民活動・絆づくり検討部会 議事要旨

1 開催日時：平成28年12月27日(火) 午後3時～午後5時

2 開催場所：麻生区役所第2会議室

3 出席者：[専門部会委員]

池松勝年委員、植木昌昭委員、緒方保委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員、
関根秀勝委員、高橋慶子委員、松田通委員

(欠席) 海崎真委員

[事務局] 井上課長、福島係長、鈴木、佐藤、榎本 [コンサルタント] 中島

4 傍聴者：1名

5 議事

1. 正副部会長の承認について

- ・池松勝年委員が部会長、鈴木隆広委員が副部会長として承認された。

2. 部会名の決定について

- ・部会の名称は仮称のままとし、今後テーマと並行して決めていくこととした。

3. 今後の専門部会の進め方について

- ・毎月第4木曜日の15時から開催することを確認した。
- ・資料3により審議スケジュールの確認・共有をした。
- ・審議の進行状況によって、追加の部会が開催される可能性があることを確認した。
- ・3月の部会については、日程の都合上、第3回全体会議前に開催する旨、確認した。後日、事務局より、日程調整を行う。

4. 調査・審議課題の検討について

- ・これまでの意見(区民会議アンケート、第1回企画部会、第2回全体会)を踏まえて、部会の審議テーマについて意見交換を行った。

【主な意見】

- ・過去の提言でフォローできることはしたほうがよい。
- ・第5期の提言4の講座のようなものは、実行できると思う。実行できそうなものは進めることが重要である。
- ・65歳以上の人の活躍の場が必要であり求められている。ボランティア活動の土壌づくりが必要。
- ・ボランティア情報の一元化のための総合的なコーディネート組織をつくることが重要になる。
- ・地域での見守りや支え合いをやってほしい。人材、地域の顔が見える関係づくりが足りない。日常生活の中で困ることが多い。
- ・審議テーマを考えるためには、今まで実施された提言の成果はどのようになっているか、またしっかり実現できたのか、課題はなかったのかを確認する必要がある。
- ・絆をつくるにもボランティアにしても情報が重要だと思っている。情報をどう発信してどう受け取れるようにするか。そのための発想として第5期では、ボランティア情報センターが提言された。
- ・共に支え合う地域づくり検討委員会で「(仮)新たな区民会議」のあり方の方向性について議論されているが、その状況を踏まえて、部会の議論をしたほうがよいのではないか。

→提言までのスケジュールを考慮すると、現状の区民会議のルールの中で議論できることをしたほうがよいのでは。

(キーワードについて)

→審議テーマを検討するために、重要なキーワードを出し合ったらどうかとの意見があり、キーワードを出し合うこととした。

【出されたキーワード】

- ・シニア活躍の場
 - ・情報（受け取りやすい）
 - ・見守り・コミュニティ
 - ・ボランティアの促進
 - ・地域の人々の意識啓発
 - ・日中地域にいる人たちの活躍の場
 - ・多世代交流
 - ・歩いて行ける範囲の活躍の場
-
- ・シニア層のボランティア参加の促進とあるが、ボランティアは年齢関係なく意識の問題。地域の人々の意識を変える必要がある。
 - ・高齢者をメインでやるならば、その人たちの行動範囲を考えてやるべきである。
 - ・過去の提言のフォローと、第1回企画部会で出された意見の整合性を図る必要があるのではないか。今までの提言をフォローするのか、新しい課題に取り組むのかを検討する必要がある。
 - ・第5期の提言がこれまでのテーマや意見を包括していると思う。それを具体化していくことが良いのではないか。
 - ・第5期の提言をベースにキーワードを追加して、実行性のあるものにしていく。次回の部会では、第5期の提言を実効性があるものにするためには、どのような検討を進めれば良いかを検討する必要がある。

【決定事項】

- ・次回の部会では、第5期の審議テーマをベースに、より具体性、実行性のあるものにしていくためには、どのような審議が必要かなど、審議の方向性を検討することが確認された。
- ・今回出されたキーワードを整理して、審議テーマを決めていくこととした。

以上